

地域医療

あがの市かわら版

第 10 号

あがの市民病院が開院!!
10月2日から外来診療スタート

あがの市民病院が10月1日に開院しました。開院初日となるこの日は、旧病院から新病院へ渡り廊下を利用して、入院患者98名の搬送が行われました。

午前8時、新病院のエントランスホールに病院スタッフが集結し、冒頭に尾崎院長による訓示が行われ、「あがの市民病院は、地域住民の健康管理と介護に力を入れ、地域包括の拠点となる病院を目指す。」と力強く宣言されました。

続いて津野副院長から、「頑張ろう!!」と掛け声が上がると、各担当者は決められた持ち場に動き、予定時刻の8時30分から入院患者さんの搬送がスタートしました。

搬送中の病院スタッフは



入院患者さんの搬送状況



新病院開院に先立ちスタッフが集結

患者さんに対し、「体調は悪くないですか?」などと、声を掛けながら搬送を行っていました。

この搬送は、完了予定時刻の午前11時まで、完全に終了し、新病院に移ったばかりの患者さんは、新病院の明るくて清潔な病室に満足した様子でした。



10月1日に開院した あがの市民病院

発行：阿賀野市 民生部 地域医療推進課
平成 27 年 10 月 19 日
TEL 0250-61-2503 (直通)
FAX 0250-62-0281
E-mail : chiikiiry@city.agano.niigata.jp

多くの市民が見学!!
あがの市民病院

シルバーウィーク中の9月20日、開院を直前に控えたあがの市民病院で、竣工記念式典および内覧会が開催されました。

式典には、来賓、工事関係者、近隣自治会長など約100人から参列いただきました。

また、午後からは一般者向けの内覧会が開催され、見学順路に沿って、外来やCT、診察室、透析室、病棟、手術室などが公開されました。

内覧会には2,000人を超える市民が見学

の関心の高さが改めて伺える結果となりました。今後、旧病院の解体と駐車場整備を来年夏までに完了させる予定です。



祝 あがの市民病院 オープニングセレモニー



「健康寿命延伸・生活習慣病
予防治療医学講座」

新潟大学医学部に寄附講座設置

10月1日に、新潟大学の高橋学長をお迎えし、阿賀野市役所において、寄附講座の協定書交換式が行われました。

この講座は、市民の生活習慣病の発症や進行に関する実態と要因を明らかにし、健康増進のための施策立案を科学的かつ効果的に進め、健康寿命日本一を目指すための研究を行うものです。

交換式当日は、寄附講座を担当する、曾根博仁教授をはじめ大学関係者と、「糖尿病・生活習慣病予防センター」を開設する、あがの市民病院の尾崎



握手をかわす田中市長と高橋学長

院長も同席されました。

同病院の「糖尿病・生活習慣病予防治療センター」には、常勤医師1人と、非常勤で指導医師2人が交代で診療にあたられます。

阿賀野市では、糖尿病において、件数は減少傾向にありながら、医療費が年々増加し、重症化が懸念されています。

市内中学2年生の生活習慣病予防健診、成人式での血液検査、成人後の継続した健診や特定健診と合わせて、生活習慣病の予防と治療を、同センターと連携をとり、一体的に展開して行きます。



協定書交換式終了後、関係者で記念撮影